

# 日中韓FTA交渉

2020年4月

外務省 南東アジア経済連携協定交渉室

## 1 意義

- 主要な貿易相手国である中国(第1位, 約21%)及び韓国(第3位, 約6%)を相手とするFTA。3か国のGDP及び貿易額は, 世界全体の約2割, アジアの約7割を占める。両国の取り込みは, 我が国が経済成長を維持・増進していくためにも不可欠。RCEPを上回る付加価値をどれだけ付与できるかが焦点。
- 日中韓3か国間の経済関係の強化を通じ, この地域の安定・外交関係の強化に貢献。

## 2 経緯

- 2012年 5月 日中韓サミット(於:中国・北京)において, 日中韓FTAの年内の交渉開始につき一致。
- 2012年11月 ASEAN関連首脳会議の(於:カンボジア・プノンペン)の機会に, 日中韓FTA交渉の開始を宣言。
- 2013年 3月 第1回交渉会合を開催(於:ソウル)。
- 2019年 4月 第15回交渉会合を開催(於:東京)。
- 2019年11月 第16回交渉会合を開催(於:ソウル)。

## 3 交渉の現状

- 物品貿易, 投資, サービスをはじめとする幅広い分野において, 交渉を実施してきた。第13回交渉会合以降は, 3か国ともに参加しているRCEP交渉が実質的に進展しているため, RCEP交渉の進展の現状を確認し, いかなる付加価値を付与することができるかを議論している。

# 日中韓サミット共同宣言における日中韓FTAへの言及

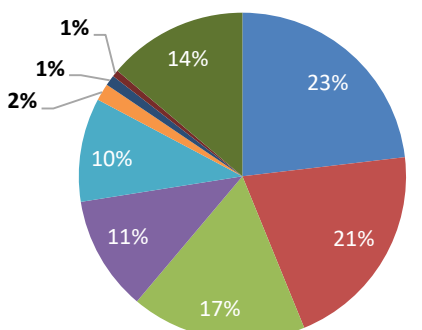
## 日中韓サミット成果文書(仮訳抜粋) 2019年12月24日(中国・成都)

ルールに基づく多角的貿易体制の極めて重要な役割を理解しつつ、我々は自由貿易及び多国間主義の精神を支持するとともに、経済主体が能力を発揮できるビジネス環境を醸成するため、既存の国際ルールを実施し、また、公平な競争条件(level playing field)を確保するように共に取り組んでいく。我々は、2019年に発出された、東アジア地域包括的経済連携(RCEP)に関する共同首脳声明のコミットメントを再確認する。我々は、RCEP交渉に基づき、独自の価値を有する、包括的な、質の高い互恵的な協定の実現にむけて、日中韓FTA協定の交渉を加速していく。

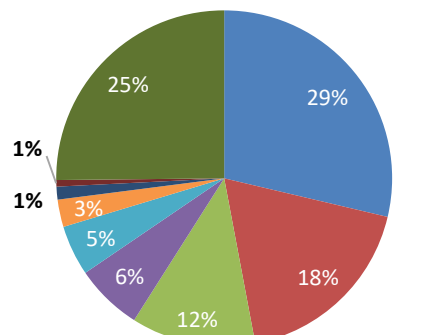
### (参考)日中及び日韓間の貿易構造

#### 日中貿易構造

日本→中国(2019年)  
対中輸出総額 14兆6,819億円



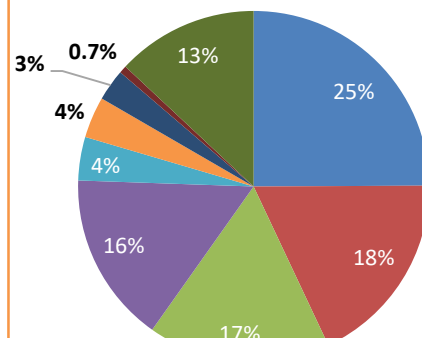
中国→日本(2019年)  
対中輸入総額 18兆4,537億円



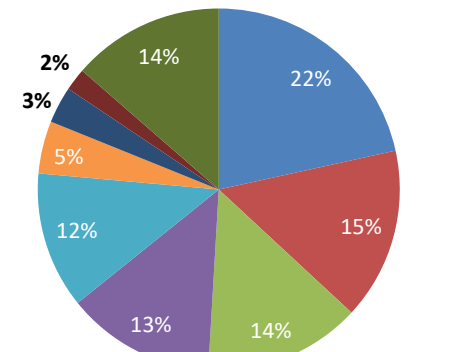
出所:財務省貿易統計(2020年3月公表)

#### 日韓貿易構造

日本→韓国(2019年)  
対韓輸出総額 5兆0,438億円



韓国→日本(2019年)  
対韓輸入総額 3兆2,271億円



出所:財務省貿易統計(2020年3月公表)